



はじめに

私たちを取り巻く社会は、大きな転換期を迎えています。急速な少子高齢社会の進行と人口減少の本格化、地球温暖化などの環境問題、さらには、国、地方を通じた厳しい財政状況など、地方自治体の運営は厳しさを増しています。

このような中、地方の時代を迎え地方自治体には今、都市としての自立性を高め、自らの知恵と努力により、地域の実態を踏まえた施策を展開し、個性豊かな地域づくりを図るといふ真の地方自治の確立に向けた取り組みが求められています。

このような時代の潮流を踏まえつつ、新市のあるべき姿を示したまちづくりの指針である「第5次焼津市総合計画」を策定しました。

総合計画は、まちの将来都市像として基本構想に掲げた「人がキラリ 海がキラリ まちをキラリ ～ 活力と自然の恵みに満ちたまち 焼津 ～」を市民の皆さまと行政とが、お互いに協力して実現するための指針となるものです。

この計画の実現には、地域のことを最も熟知されている市民の皆さまと行政が、協力し合う協働の関係が不可欠となっております。

平成20年11月1日に焼津市と大井川町が合併し、新しい焼津市が地域資源を活かして発展していくために、市民・事業者・各種団体の皆さまと行政とが手を携え、活力と自然の恵みに満ちた、住んでいて良かったと思えるまちづくりに、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆さま方のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にご尽力をいただきました総合計画等審議会委員、市民会議委員の方々、そして市民意識調査などにより貴重なご意見・ご提案をお寄せいただきました多くの市民の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

平成23年3月

焼津市長 清水 泰

